

ながたけじゅうたく  
永田家住宅

所在地：南あわじ市 倭文長田



主屋 出典：文化庁



離れ座敷 出典：文化庁



池石積 出典：文化庁



家具蔵 出典：文化庁

永田家住宅は、明治中期に建てられた淡路島の近世民家形式を伝える大型住宅で、平成 23 年（2011）に国登録有形文化財に指定されました。

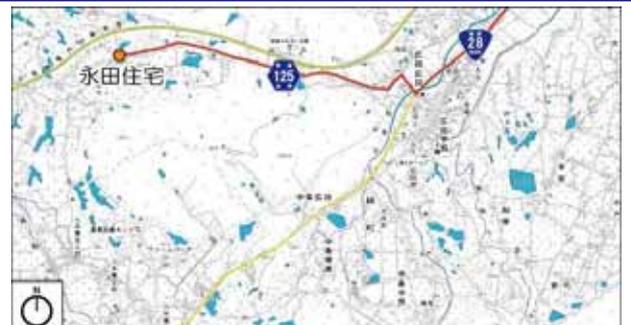
登録の対象となったのは、主屋、離れ座敷、池石積、家具蔵などの9件です。主屋は、木造二階建てで、柱を取り外し大広間として利用できる工夫がされています。また、離れ座敷は、寄棟屋根の開放的な造りの接客施設となっています。住宅前にある石積みの池川には、洋風の木製手すりがついた濡縁が張り出しており風情を感じさせます。

永田家住宅にあるどの建築物にも淡路瓦が葺かれており、重厚な屋敷の景観をつくりだしています。

- 【景観の特徴】
- 自然がつくりだす景観
  - 歴史がつくりだす景観
  - ✓ 生活・文化がつくりだす景観
  - 新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道洲本 IC から国道 28 号、県道 125 号線へ。車で約 20 分。



地図出典：国土地理院発行 2万5千分の1地形図